２　児童文化部

１　行事及び活動内容

（１）　会議

○　児童文化部長・運営委員合同会

第１回　　６月１７日(火)　平成２６年度児童文化事業の運営について

第２回　１１月　４日(火)　文化展作品の撤去

第３回　　１月３０日(金)　本年度の反省と次年度の行事計画について

○　運営委員会

第１回　　６月１７日(火)　平成２６年度児童文化事業の運営について

第２回　１０月３１日(金)　文化展作品の展示(会場設営)

第３回　１１月　４日(火)　文化展作品の撤去

第４回　　１月３０日(金)　本年度の反省と次年度の行事計画について

（２）　天草郡市児童・生徒文化展(描画・毛筆・硬筆・科学・発明・壁新聞・特別支援学級)

○　場所　　天草教育会館

○　期日　　１１月１日(土)～１１月３日(月)

※会場設営は１０月３１日(金)・作品撤去は１１月４日(火)

（３）　天草郡市小・中学校音楽会

○　場所　　天草市民センター

○　期日　　１１月１２日(水)

※平成２１年度から午前小学校、午後中学校の音楽会として一日で実施している。

（４）　天草郡市中学校英語発表会

○　場所　　天草市立稜南中学校

○　期日　　９月２２日(月)

２　反省及び要望

※　描画

今年度も各学校から出品された作品を一堂に集め、複数の審査員により各学年３０点を選出するという方法で審査を行った。各部会・支部の負担が軽減されることや複数の審査員の協議による審査のため、選出の傾向が偏りにくいことなどが利点である。しかし、直接、審査評やアドバイスなどを伝えることができなくなったことが課題であるため、以下に学年ごとの審査講評を載せたいと思う。

【小学校低学年】主題がはっきりし、動きがある作品が特によかった。輪郭線がはっきりしていない作品はどうしても弱い印象となる。また、単調な色合いの作品は、重ね塗りの技法などを効果的に使うともっと良くなると思う。

【小学校中学年】人物画で肌の色がきれいな作品や全体的に明るい作品が多かった。肌の色は朱色をベースに混色を工夫していくと良いと思う。

【小学校高学年】例年と比べ神社の鳥居が多く、街並みが少なかった。また、写真をそのまま写したような作品があったが、あくまで写真は参考までとして欲しい。

【中学校１年】見慣れた風景を絵に描く意識を持って見つめ直し、真摯に取り組んだ作品であふれていた。遠近感を意識し、色の強弱等の工夫もみられた。

【中学校２年】固有色にこだわることなく、対象の明暗を観察し、追求した作品が多くみられた。みどりの表現に個性があふれ、重色による深みのある色調に魅力を感じた。

【中学校３年】透視図法をしっかり自分のものとし、正確に形を捉えている作品が多かった。少ない授業時間の中でじっくり描き込んだ密度の濃い作品に最上級生としてのプライドを感じた。

※　書写

夏季指導者講習会では、元熊本大学教授の森山先生を講師として迎え、基本的筆使いや文化展題材の練習を中心とした実技講習を行いました。今年度は、「午前コース」「午後コース」「一日コース」を設け、より先生方のニーズに応じた講習会になるよう計画しました。３０名の受講者からは、今後の児童生徒への指導に生かしていきたいとの感想を数多くいただきました。文化展については、先生方のご協力で計画通り実施することができました。

天草郡市一括審査では、退職された校長先生方も含め１０名の審査員で審査を行いました。優秀賞となった作品には、練習の跡が見える力作が多くありました。児童生徒の頑張りと先生方の熱心な指導に感謝いたします。

また、毛筆作品において全体的にきれいに裏打ちがなされており、先生方のご理解とご協力のおかげでさらに見栄えのよい作品に仕上がっていました。裏打ちの仕方については、毎年、夏季指導者講習会でも講習を行っていますのでぜひご参加ください。硬筆部門において消しゴム使用や校名スタンプ漏れの作品、毛筆部門において学校名の書き方（中学校の「中」は省略）が違う作品がありましたので、要項の確認と指導の徹底をお願いします。

※　壁新聞

今年度は小学校・中学校から寄せていただいた作品は２９点で､例年より少ない状況でした。制作に時間がかかる壁新聞に取り組んでいただき、たいへんありがたく思います。

しかし、残念ながら新聞の特徴である紙面構成の工夫（伝えたいことの中心となるトップ記事とその他の記事の内容と紙面割りの工夫、見出し、リード文、囲み記事、編集後記など）に不足がみられるものや、タイトルや見出しなどの大きな文字に誤字（特に新聞の「聞」）がみられるものがあり、指導のあり方を考えさせられました。壁新聞づくりは、子どもたちの情報活用能力の育成に適した教材だと思います。

平成２７年度は、今年度より多くの作品が寄せられることを期待しています。

※　特別支援学級

特別支援学級の作品展は、今年度も一人一点（または共同製作）の出品で、ほぼすべての児童・生徒の作品を展示することができました。作品の内容も、先生方の指導工夫のおかげで児童生徒のよさが光った作品ばかりで、保護者にも大変好評でした。何よりたくさんの方に見ていただいたことで、児童生徒の自信となったのではないかと思います。特別支援学級に対する理解と啓発ができたのではないかと思います。

今年度も、昨年度より児童生徒数が増えたため、作品や作品票の大きさを規定させてもらいましたが、先生方のご理解とご協力のおかげで、出品されたすべての作品を展示することができました。年々児童生徒数が増加しているので、来年度も展示スペースを考えた作品等の検討をしていきたいと思います。

そして、今年度も作品返却の際に各支部の文化部長の教頭先生方にご協力いただきました。本当にありがとうございました。

※　天草郡市小中学校音楽会

本年度は部門別研修会と天草郡市小中学校音楽会の二つの行事を行いました。

部門別研修会は、８月２５日（月）に天草市立本渡中学校を会場とし、講師に熊本県立教育センター指導主事、中村理恵先生をお迎えして実施いたしました。午前中は鑑賞に緘する実践発表と指導講評・講義を、午後は「児童・生徒が楽しく学べる！授業づくりのポイント」と題して授業づくりについての実技講習会を実施しましたが、２学期以降すぐに実践できる内容ばかりで大変充実した研修会となりました。参加者も４６名と非常に多く、この点でも天草の音楽教育の向上に資する研修であったと思います。

第６１回となった天草郡市小中学校音楽会ですが、会場の天草市民センターの方々、また各支部・部会・児童文化部長の先生方のおかげをもちまして無事に終了することができました。

関係各位のご支援に心より感謝申し上げます。本年度は市民センターの工事も終了しており児童生徒の動線がしっかりと確保できたこと、制限時間を超えての演奏が無かったことなどが成果として挙げられると思います。課題としては保護者の鑑賞マナーが挙げられますが、これについては今後も粘り強く取り組んでいく必要があります。伝統ある本音楽会が今後更に充実した内容になるように努力していきたいと思います。

※　天草郡市中学校英語発表会

天草郡市２３校、全ての学校の代表生徒の参加があり、とても有意義な大会となりました。少人数の学校も多く、他の行事との兼ね合いが大変難しい中で、各学校これまで練習してきた成果を十分に発揮し、真剣に、そして、いきいきと発表していました。日本人指導者や ALT の熱心な指導のおかげで、発音やイントネーション、感情表現などに創意工夫がみられ、審査員の先生方からも高い評価をいただきました。県英語暗唱大会においても、１年生が４位に入賞するなど活躍しました。また、司会進行を昨年度２年生で最優秀賞を受賞した生徒が行うなど、生徒主体の大会となりました。

来年度はさらに充実した発表会となるように、アンケート等でいただいた意見をもとに、改善を図りたいと思います。

※　科学展

平成２６年度　第７４回熊本県科学研究物展示会　入賞者

賞	作品名	学校名	学年	研究者名（敬称略）
優賞	浮かぶ洗たくのりの研究	本渡中	3	平田、谷口、原田、荒木
優賞	納豆の粘々を調べる	天草中	3	石松、冨永、平井
優賞	炎色反応を利用した混色の研究２	河浦中	2	大田、大西、丸山
熊本博物館賞	ウロコのガザガザと泳ぐスピード	都呂々小	6	宮内、飛永
優賞	化石からのメッセージを考える　～天草の土地を～	登立小	6	山下
熊日ｼﾞｭﾆｱ科学賞	くるくる回って長く飛べ！パート２	上小	5	園田
優賞	ＤＮＡをとり出す研究	瀬戸小	5	那須
良賞	ゴムの力や伸びと飛距離の関係	倉岳中	3	蓮田、坂本
良賞	進め！電磁推進船	大矢野中	3	千原
良賞	ふきこぼれの原因は？	稜南中	2	山口
良賞	表面張力の研究	栖本中	2	森山６名
良賞	不思議　つつの転がり実験	富岡小	5	稲尾、中島、小林
良賞	野菜のデンプンについて	亀川小	4	山口
良賞	梅の木についてと梅の実の塩づけのかんさつ	瀬戸小	4	近藤

平成２６年度　第４９回熊本県発明工夫展　入賞者

賞	作品名	学校名	学年	研究者名（敬称略）
熊日賞	足専用冷暖房機	本渡中	3	井上

ＫＫＴ賞	表裏一体マグネット回転短冊	本渡中	1	川上
優賞	掃・潔・吸（はくけっきゅう）	栖本中	2	山田、井上、岡田 原田
ＴＫＵ賞	お掃除らくらく！ベランダそうじグッズ	富岡小	6	岡野、由本
優賞	フタ閉じ用フォーク	五和小	6	大手

平成２６年度　学校賞

（県の科学展および県の発明工夫展に出展された回数が５の倍数になった学校）

学校名	出品回数
天草市立亀川小学校	５５
天草市立稜南中学校	２０
上天草市立上小学校	１５
天草市立天草中学校	１０
苓北町立富岡小学校	１０
天草市立瀬戸小学校	5

平成２６年度　天草郡市科学展・発明工夫展の審査を終えて

○良かった点

・科学展，発明工夫展ともに，多くの出品があってよかった。特に，発明工夫点の出品がとても多くてよかった。
・規格外の作品が，ほとんどなくてよかった。
・硬貨や釘，食べ物を貼り付けた作品が少なかったのはよかった。

○課題

・作品のタイトルと提出名簿が一致していないものがみられた。
・研究の進め方が弱いのが多かった。
（例）仮説を立てる　→　観察や実験を行う　→　結果を記録する　→　考察する　→　まとめる
　　という一連の流れを考えると良い
・結果が予想と違っていたら，もう一度仮説を考え直し，さらに観察や実験を行って研究を深める
・テーマ（題名）と内容が一致していないものが多かった。テーマの設定をもう少し工夫して欲しい。
・インターネットからの引用を写しているものが多く，調べただけで終わらず，自分なりに発展させてほしかった。
・同じ条件で実験を行っておらず，測定値の客観性に欠けるものが多かった。
（例）「はやかった」や「多かった」は，数値で表してほしい
・発想はよいが，実験回数が少なく，再現性が低いものが見られた。
・観察や実験の結果を，表やグラフの表現を工夫すればもっとよくなるものが多かった。
・表やグラフの表題や凡例がきちんとつけてあるとよかった。
・補助資料をつけて出品してほしい。内容が良くても，県に出品する際には補助資料が必要となる。
・提出された補助資料には，１つ１つにきちんと学校名・学年・名前を書いてほしい。審査や返却の際に，大変困った。
・学校名，出品者名を正しく記載してほしい。
（例）○○市（町）立○○小（中）学校　○年　○○○○　　学校名は略称を用いない。
・まとめに，「～した方がよかった」という反省が多く，残念だった。
・同じようなテーマの作品が多かったので，日頃の授業から，課題を発見したり探したりする力を身につけていってほしい。

来年度も，多くの児童生徒のみなさんの作品が出品されることを期待しています。